

泊発電所3号炉審査資料	
資料番号	資料6-4
提出年月日	令和5年5月9日

泊発電所3号炉 前回審査資料に対する記載適正化箇所リスト

有効性評価 7.3.2 想定事故2

No	資料名称	該当ページ	適正化内容	備考
1	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.3.2 想定事故2 (SAE732 r.8.0)	7.3.2-2	以下の通り記載を修正しました。(下線部参照) (旧) 対応手順 (新) 手順	
2	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 7.3.2 想定事故2 (SAE732-9 r.8.0)	1	同上	
3	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.3.2 想定事故2 (SAE732 r.8.0)	7.3.2-4	以下の通り記載を修正しました。(下線部参照) (旧) 間欠運転 (新) 間欠運転又は流量調整	
4	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 7.3.2 想定事故2 (SAE732-9 r.8.0)	3	同上	
5	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.3.2 想定事故2 (SAE732 r.8.0)	7.3.2-15	以下の通り記載を修正しました。(下線部参照) (旧) 燃料は露出し (新) 燃料が露出し	
6	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 7.3.2 想定事故2 (SAE732-9 r.8.0)	21	同上	
7	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.3.2 想定事故2 (SAE732 r.8.0)	7.3.2-17	以下の通り記載を修正しました。(下線部参照) (旧) 以降、使用済燃料ピットへの注水により使用済燃料ピット水位が維持され、温度が安定していることを確認する。 (新) その後は、使用済燃料ピットの冷却機能を復旧するとともに、可搬型大型送水ポンプ車の間欠運転又は流量調整により蒸発量に応じた注水を行うことで、必要な遮蔽を確保できる使用済燃料ピット水位より高く維持する。	
8	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 7.3.2 想定事故2 (SAE732-9 r.8.0)	22	同上	
9	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.3.2 想定事故2 (SAE732 r.8.0)	7.3.2-20 添7.3.2.2-1	概略系統図に燃料タンク (SA) を追加しました。	
10	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 7.3.2 想定事故2 (SAE732-9 r.8.0)	26 添7.3.2.2-1	同上	